【資料１】

# 沖縄県の「恒久平和に貢献する万国津梁会議」の趣旨

## １　恒久平和に貢献する万国津梁会議の設置について

2025 年に去る大戦から 80 年の節目を迎えます。

沖縄は、先の大戦において、一般住民を巻き込んだ苛烈な地上戦の地となり、20 万人余の尊い命を失いました。沖縄県では、沖縄戦の実相・教訓を次世代に継承するための取組とともに、平和を希求する「沖縄のこころ」の国内外への発信等、平和行政に関する取組を進めてきました。

## ２　同万国津梁会議の有識者に助言、提案を求める点

沖縄県としては、これまでの平和行政の取組を検証しつつ、戦後 90 年、100 年といった長期的な視点に立ち、本県を取り巻く時代潮流、地域特性などを踏まえ、世界の恒久平和、ひいては沖縄の平和に貢献するためのメッセージとして、恒久平和のためのビジョン（仮称）と、それを達成するための基本的な考え方を作成することを考えております。

このため、有識者等で構成する万国津梁会議において、沖縄県が果たす役割と方向性についてご意見やご提言等をいただきたいと考えております。

### １．万国津梁会議について

**①設置目的**　（万国津梁会議設置要綱　第1条より）

沖縄21世紀ビジョンにおける5つの将来像を実現し、「新時代沖縄」を構築するためには、更なる政策の推進を図る必要があることから、各分野の有識者等から意見を聴くため「万国津梁会議」を設置する。

【参考：沖縄21世紀ビジョンにおける5つの将来像】
- ◆ 沖縄らしい自然と歴史、伝統、文化を大切にする島
- ◆ 心豊かで、安全・安心に暮らせる島
- ◆ 希望と活力にあふれる豊かな島
- ◆ 世界に開かれた交流と共生の島
- ◆ 多様な能力を発揮し、未来を拓く島

**②万国津梁会議の所掌事務**　（万国津梁会議設置要綱　第2条より）

（1）人権・平和に関すること
（2）情報・ネットワーク・行政に関すること
（3）経済・財政に関すること
（4）人財育成・教育・福祉・女性に関すること
（5）自然・文化、スポーツに関すること

1

３　検討テーマ・会議名称：恒久平和に貢献する万国津梁会議

設定理由：沖縄県並びに県民の様々なネットワーク・活動をとおして、恒久平和に貢献することを目指すビジョンと基本的な考え方作成に向けた会議とする。

４　平和の定義

「平和」とは、戦争や紛争のない状態にとどまらず、貧困、暴力、人権の抑圧、差別、環境破壊等がない、安らかで豊かな状態。

沖縄県が発信する平和を希求する「沖縄のこころ」には、国内外の人々が安全に、また安心して豊かに暮らせる社会の実現に向けた多角的な地域間協力、国際平和を求める地域外交と人間の尊厳を何よりも重く見る「人間の安全保障」の視点も含まれる。*（新・沖縄 21 世紀ビジョン基本計画）*

「沖縄のこころ」とは、人間の尊厳を何よりも重くみて、戦争につながる一切の行為を否定し、平和を求め、人間性の発露である“文化”をこよなく愛する心である。*（沖縄県平和祈念資料館　設立理念）*

【資料１】

# ビジョン策定に向けた検討項目（案）

## ５ 検討の視点　※大きな視点から

【視点１：平和を希求する「沖縄のこころ」を軸とした意識醸成】

① 多様な文化の相互理解

（異なる背景を持つ人々との平和を軸とした文化交流による信頼関係の醸成）

② 人間の安全保障への貢献

（人間の尊厳を何よりも重く見る「人間の安全保障」）

【視点２：国際ネットワーク構築】

③ 国連など国際機関を通じた働きかけを行う素地作り

（沖縄県だけでは実現不可能な政策目標達成に向けた環境整備）

④ 多様で重層的な国際ネットワークの構築

（行政機関、平和博物館、研究機関、大学、市民等）

【視点３：国内ネットワーク構築・次世代継承】

⑤ 国内ネットワーク構築による平和発信

（平和関連 NGO や核廃絶を中心に据える広島・長崎とのネットワーク強化）

⑥ 沖縄戦の実相の次世代継承とその方策の発信

（戦後 80 年経過、戦争経験者の減少、平和学習の充実）

⑦ ビジョン実現に向けた推進体制

（行政（県・市町村）、民間団体・研究機関の連携、県の組織体制等）

【資料１】

## ６　開催時期と検討内容（案）

（令和６年度）

| 回数 | 開催時期 | 内　容 |
|---|---|---|
| 第１回 | 12 月 25 日<br>14 時～17 時 | ①沖縄県の平和関連の取組<br>②沖縄の平和に対する各委員の考えについて |
| 第２回 | ２月●日<br>14 時～17 時 | ①第１回会議の議論の整理<br>②平和に貢献するビジョン等について（骨子等を提示） |

（令和７年度）

| | | |
|---|---|---|
| 第３回 | ６月頃 | ①第１回～第２回の議論の整理<br>②ビジョン等の骨子等の整理<br>③提言の内容について確認 |
| 国内関連施設への調査等 | | |
| 第４回 | ９月頃 | ①提言の内容について確認（まとめ） |
| 最終提言とりまとめ | | |

※開催場所は、沖縄県那覇市内（基本的には県庁会議室を予定）

⇓

万国津梁会議から知事への「提言」（令和７年 10 月頃）

⇓

【県】平和に関するビジョン案（仮称）に対する県民意見公募（令和７年度中）

【県】平和に関するビジョン（仮称）を策定（令和８年度）